６　指宿地域の特色を生かした稼げる花き産地の育成

指宿地域の特色を生かした稼げる花き産地の支援

成果の要約

１　観葉植物の青年農業者育成に向け，若手の会を結成し，研修会や交流会等を通じて技術向上と交流促進に取り組んだ。
２　ＪＡいぶすき観葉植物部会，観葉女性部Ｍｓ.の会の活動を支援し，産地ＰＲに繋げた。
３　指宿市で発生する汚泥発酵肥料の活用について検討し，肥料コストの低減を実証した。

１　対象

（１）　いぶすき農協観葉植物部会　　48 戸
（２）　観葉植物の青年農業者　　８ 戸
（３）　観葉女性部 Ms.の会　　８ 戸

２　課題を取り上げた理由

（１）　青年農業者や新規参入者は基礎的な技術を学ぶ機会が十分に確保されておらず，また，相互に交流する機会も少ない状況にある。
（２）　コロナ禍による巣ごもり需要が終わり，観葉植物の出荷額はピーク時から減少しており，PR 活動を通して有利販売に繋げる必要がある。
（３）　肥料価格の高騰により，コスト削減が喫緊の課題となっている。

３　活動の内容及び成果

（１）　観葉植物の青年農家への支援
４月に若手の会を結成し，２か月に１回，研修会や各ハウスの視察，交流会を開催して後継者の育成を図った。（写真１，２）



写真１　生花店研修会風景



写真２　ハウス視察研修風景

（２）　ＪＡいぶすき観葉植物部会・観葉女性部Ｍｓ.の会の活動支援

ア　ＪＡいぶすき観葉植物部会
イオンモール鹿児島で開催された「春のグリーンフェア」に参加し，観葉植物の PR 販売を行った。（写真３）



写真３　販売会風景

サマーセミナーでは，今後の観葉フェア（商談会）の方向性をテーマとしたグループワークを実施し，部会員同士のアイデア出しを支援した。（写真４）



写真４　グループワーク風景

イ　観葉女性部Ｍｓ．の会

「第 45 回グリーンフェスタいぶすき」では，観葉植物アレンジワークショップ等を実施し，消費者に観葉植物の魅力を発信した。(写真５)



写真５　ワークショップ風景

（３）　汚泥発酵肥料の活用検討

指宿広域汚泥リサイクルセンターで発生する汚泥発酵肥料（商品名：指宿広域みのりの大地）の活用を検討した。

ア　視察研修

４戸の観葉植物農家と視察研修を行い，汚泥発酵肥料に関する知識を深めた。(写真６)



写真６　視察研修風景

イ　実証試験

慣行肥料と比較して生育に支障がないことを確認し，用土１㎥あたりの肥料コストを約 1,000 円削減できることが実証された。（写真７，８）（表１）



写真７　生育調査風景



写真８　生育状況

表１　コスト比較

	肥料名	価格（税込）	用土１㎥あたり
慣行区	IBS1	4,492円/20kg	1,347円
試験区1	みのりの大地	100円/15kg	367円
	硫酸加里	3,251円/20kg	

４　今後の課題

（１）　観葉植物の青年農業者への支援

青年農業者・新規参入者への育成支援継続

（２）　JA いぶすき観葉植物部会・観葉女性部Ｍｓ．の会活動支援

PR 活動，観葉フェア開催支援による指宿産観葉植物の知名度向上と JA 共販額増加

（３）　汚泥発酵肥料の活用検討

他の観葉植物における肥料適用状況の把握

５　担当した普及職員（〇はチーフ）

〇田中，黒木，町田